



東北大学 光・量子ビーム科学連携推進室

第5回ワークショップ

— 光・量子ビームを用いた地球惑星科学の新展開 —

平成28年1月5日(火) 13:30 ~ 6日(水) 15:45
東北大学青葉山北キャンパス 理学研究科合同C棟 青葉サイエンスホール

主催
東北大学 光・量子ビーム科学連携推進室

共催
東北大学 理学研究科

1月5日(火) 13:30~17:20

開会挨拶

伊藤 貞嘉(本学理事、光・量子ビーム科学連携推進室委員長)

趣旨説明

早坂 忠裕(理学研究科長)

【岩石・鉱物・微粒子】

放射光を用いた地球外試料分析の現状と、将来惑星探査への展望

上相 真之(宇宙航空研究開発機構(JAXA)地球外物質研究グループ)

中性子ビームを用いた高圧実験

鍵 裕之(東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設)

ミュオンを用いた太陽系物質の分析

寺田 健太郎(大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻)

【雲・エアロゾル】

ライダーを用いた雲・エアロゾル・大気微量気体の観測

西澤 智明(国立環境研究所)

ライダー・レーダによる雲解析研究と今後の展開

岡本 創(九州大学応用力学研究所)

17:30~19:30

懇親会(エスパースウーバー)

世話人:

早坂忠裕、鈴木昭夫、岩佐和晃(理学研究科)
酒見泰寛(サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター)
池田 進(WPI-AIMR)

お問い合わせ:下記へご連絡お願いいたします。

事務局:池田 進(WPI-AIMR)

e-mail : beam_office@wpi-aimr.tohoku.ac.jp

Tel : 022-217-5976

1月6日(水) 9:30~15:45

【環境】

分子地球化学: XAFSで得られる分子レベルの情報から地球・環境を理解す

高橋 嘉夫(東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)

PIXE(荷電粒子線励起X線分光分析法)を用いた地球科学・環境科学研究

世良 耕一郎(岩手医科大学)

【地球内部①】

ミュオグラフィによる火山研究(仮)

田中 宏幸(東京大学地震研究所高エネルギー素粒子地球物理学研究センター)

X線トモグラフィーによる火山噴火メカニズムの解明

奥村 聡(東北大学大学院理学研究科地学専攻)

【地球内部②】

地震波トモグラフィーによる地球内部3次元構造の推定

趙 大鵬(東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター)

放射光を用いて探る地球内部物質

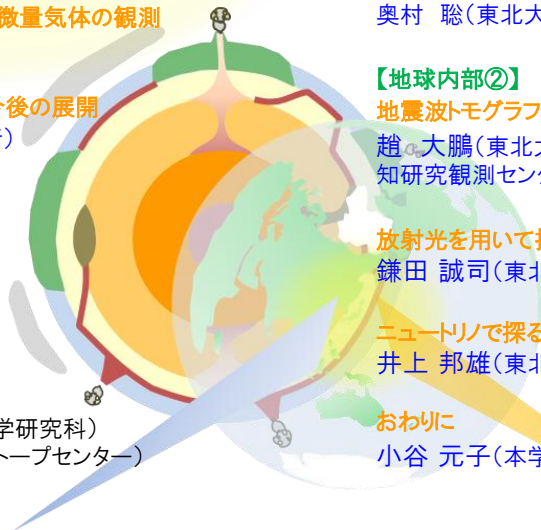
鎌田 誠司(東北大学学際科学フロンティア研究所)

ニュートリノで探る地球深部

井上 邦雄(東北大学ニュートリノ科学センター)

おわりに

小谷 元子(本学副理事、WPI-AIMR機構長)



参加登録、最新情報は光・量子ビーム科学連携推進室ウェブサイト
<http://www.wpi-aimr.tohoku.ac.jp/quantumbeam/index.html>
をご覧ください。